（様式6）

令和8年度　林分条件調査表

森林管理署	三八上北森林管理署
物件番号	1
物件名	森林環境保全整備事業（黒森山国有林外）1

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積	伐採率	平均胸高直径	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村からの距離	備　考
															伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設		林地保全		土場作設等	砂利数量	薬剤散布（スミパイン）	鉄板規格*枚数		
									本数	材積	㎥/本	N	L	計	方法	数量	方式	数量	フォワーダ片道運搬距離	数量	ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙ付きﾄﾗｯｸ片道運搬距離	数量	林地傾斜	延長	2種編柵	緑化					
						ha	%	cm		㎥	㎥	㎥	㎥	㎥		㎥		㎥	m	㎥	m	㎥	緩・中・急	m	m	㎡	h	㎥	ℓ		km	
125い6	水涵保	スギ	62	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	2.52	25	38	587	712	1.21	328		328	全木	712	ﾌﾟﾛｾｯｻ	328	279	328			緩								十和田市役所 30.1	
125い7	水涵保	スギ	70	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	2.81	25	38	384	464	1.21	214		214	全木	464	ﾌﾟﾛｾｯｻ	214	212	214			緩								30.1	
127ろ4	水涵保	スギ	63	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	4.53	25	32	704	606	0.86	276		276	全木	606	ﾌﾟﾛｾｯｻ	276	794	276			緩								30.1	
128は	水涵保	スギ	64	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	10.65	25	30	1,572	1,419	0.90	704		704	全木	1,419	ﾌﾟﾛｾｯｻ	704	1074	704			中								30.1	
128ほ5	水涵保	スギ	54	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	10.03	25	24	2,957	1,304	0.44	637		637	全木	1,304	ﾌﾟﾛｾｯｻ	637	1139	637			緩								30.1	
128ほ6	水涵保	スギ	54	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	10.80	25	22	3,187	1,404	0.44	687		687	全木	1,404	ﾌﾟﾛｾｯｻ	687	834	687			緩								30.1	
合計						41.34			9,391	5,909	0.63	2,846		2,846		5,909		2,846		2,846				4,290 m			21	65.0	2,160 (150倍希釈)	3m×8枚 222日		砂利数量内訳 0-80 ＝ 39㎥　割栗 ＝ 26㎥

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
　緩:0°～20°、中:20°～30°、急:30°以上
4 森林作業道作設の土質等欄は、作設に当たり特に留意する必要がある場合に記載する。
5 最寄りの市町村役場（支所含む）からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
6 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
7 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

（様式6）

令和8年度　林分条件調査表

森林管理署	三八上北森林管理署
物件番号	2
物件名	森林環境保全整備事業（黒森山国有林外）2

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積	伐採率	平均胸高直径	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村からの距離	備考
															伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設		林地保全		土場作設等	砂利数量	薬剤散布（スミパイン）	鉄板規格*枚数		
									本数	材積	㎥/本	N	L	計	方法	数量	方式	数量	フォワーダ片道運搬距離	数量	グラップル付きトラック片道運搬距離	数量	林地傾斜緩・中・急	延長	2種編柵	緑化					
						ha	%	cm		㎥	㎥	㎥	㎥	㎥		㎥		㎥	m	㎥	m	㎥		m	m	㎥	h	㎥	ℓ		km	
130い2	水涵保	スギ	53	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	8.50	25	28	1,892	971	0.51	467		467	全木	971	プロセッサ	467	325	467			緩								十和田市役所 34.1	
130い3	水涵保	スギ	53	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	7.18	25	28	1,606	820	0.51	394		394	全木	820	プロセッサ	394	1067	394			緩								34.1	
130い4	水涵保	スギ	53	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	3.02	25	28	678	345	0.51	165		165	全木	345	プロセッサ	165	1683	165			緩								34.1	
130い5	水涵保	スギ	53	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	9.06	25	28	2,018	1,035	0.51	497		497	全木	1,035	プロセッサ	497	580	497			緩								34.1	
130い6	水涵保	スギ	53	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	6.89	25	28	1,534	787	0.51	379		379	全木	787	プロセッサ	379	218	379			中								34.1	
130い7	水涵保	スギ	53	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	7.85	25	28	1,755	896	0.51	431		431	全木	896	プロセッサ	431	509	431			緩								34.1	
130い10	水涵保	スギ	51	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	2.35	25	16	1,080	188	0.17	84		84	全木	188	プロセッサ	84	165	84			緩								34.1	
130い11	水涵保	スギ	52	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	4.79	25	28	1,076	547	0.51	263		263	全木	547	プロセッサ	263	307	263			緩								34.1	
130い12	水涵保	スギ	51	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	2.96	25	16	1,356	237	0.17	106		106	全木	237	プロセッサ	106	199	106			中								34.1	
130へ	水涵保	スギ	63	保育間伐（活）	列状間伐（1伐3残）	1.76	25	26	549	311	0.57	158		158	全木	311	プロセッサ	158	1028	158			緩								34.1	
合計						54.36			13,544	6,137	0.45	2,944		2,944		6,137		2,944		2,944				5,475 m			21	65.0	2,160 (150倍希釈)	3m×4枚 222日		砂利数量内訳 0-80 ＝ 39㎥　割栗 ＝ 26㎥

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
　緩:0°～20°、中:20°～30°、急:30°以上
4 森林作業道作設の土質等欄は、作設に当たり特に留意する必要がある場合に記載する。
5 最寄りの市町村役場（支所含む）からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
6 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
7 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

（様式6）

令和8年度　林分条件調査表

森林管理署	三八上北森林管理署
物件番号	3
物件名	森林環境保全整備事業（北来満山地区）

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積	伐採率	平均胸高直径	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村からの距離	備　考
															伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設		林地保全		土場作設等	砂利数量	薬剤散布（スミパイン）	鉄板規格*枚数		
									本数	材積	㎥/本	N	L	計	方法	数量	方式	数量	フォワーダ片道運搬距離	数量	ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙ付きﾄﾗｯｸ片道運搬距離	数量	林地傾斜	延長	2種編柵	緑化					
						ha	%	cm		㎥	㎥	㎥	㎥	㎥		㎥		㎥	m	㎥	m	㎥	緩・中・急	m	m	㎡	h	㎥	ℓ		km	
549い1	水涵保	カラマツ	59	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	2.52	25	20	588	216	0.37	105		105	全木	216	プロセッサ	105	896	105			中								田子町役場	16.6	
549い2	水涵保	カラマツ	59	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	11.99	25	18	3,836	1,075	0.28	512		512	全木	1,075	プロセッサ	512	1511	512			中									16.6	
549い4	水涵保	カラマツ	58	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	10.29	25	18	3,292	923	0.28	439		439	全木	923	プロセッサ	439	1184	439			中									16.6	
549い5	水涵保	スギ	58	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	1.43	25	24	624	332	0.53	161		161	全木	332	プロセッサ	161	600	161			中									16.6	
549い6	水涵保	スギ	59	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	4.50	25	20	1,615	675	0.42	325		325	全木	675	プロセッサ	325	850	325			中									16.6	
549ほ	水涵保	スギ	59	保育間伐（活）	列状間伐(1伐3残)	3.21	25	24	707	411	0.58	199		199	全木	411	プロセッサ	199	1405	199			中									16.6	
合計						33.94			10,662	3,632	0.34	1,741		1,741		3,632		1,741		1,741				6,415 m			21	45.5	2,160 (150倍希釈)	3m×10枚 222日		砂利数量内訳 0-80 ＝ 26㎥　割栗 ＝ 19.5㎥

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
　緩:0°～20°、中:20°～30°、急:30°以上
4 森林作業道作設の土質等欄は、作設に当たり特に留意する必要がある場合に記載する。
5 最寄りの市町村役場（支所含む）からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
6 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
7 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。